

平成22年3月29日

脱退手当金の支給日前に脱退手当金の計算の基礎とされていない被保険者期間がある記録にかかるサンプル調査の実施状況について (中間集計)

## I. 調査の趣旨等

(→ 別紙1、2参照)

## II. 本人調査の実施状況

○ 調査対象者数： 2,000人 (受給者1,500人、受給者以外500人)

うち2月末までに調査実施： 1,538人 (受給者1,159人、受給者以外379人)

(注) 受給者・受給者以外の別は、平成20年12月現在の基礎年金番号ファイルの状況による。

### 1. 2月末までに調査を実施した上記1,538人の状況

\* ( ) 内は、上記1,538人に対する割合

① 面談調査を行うことができた	1,050人 (68.3%)
② 調査対象者が死亡	26人 (1.7%)
③ 調査対象者の住所が不明	62人 (4.0%)
④ 調査対象者の入院などにより面談が困難	87人 (5.7%)
⑤ 戸別訪問を繰り返し試みたが、調査対象者が不在	166人 (10.8%)
⑥ 調査に応じていただけなかった	106人 (6.9%)
⑦ 脱退手当金の支給が取り消され、脱退手当金の支給対象期間が支給対象外期間に訂正されていた	14人 (0.9%)
⑧ 脱退手当金の支給日前の厚生年金加入期間がすべて脱退手当金支給対象期間となっていた	27人 (1.8%)

(注) 上記⑦及び⑧のケースは、調査対象者を抽出した際のデータとのタイムラグにより生じたもの。

### 2. 面談調査を行うことができた上記1,050人の調査結果

\* ( ) 内は、上記1,050人に対する割合

#### (1) 実際に脱退手当金の支給を受けたか

① 支給を受けた	723人 (68.9%)
② 支給を受けていない	113人 (10.8%)
③ 覚えていない	214人 (20.4%)

(注) 上記①には「たぶん支給を受けたと思う」との回答があったケースを含み、上記②には「たぶん支給を受けていないと思う」との回答があったケースを含む。

(2) 上記(1)の回答が①(支給を受けた)であった方(723人)の状況

ア. どのように脱退手当金の支給を受けたか

- |                   |              |
|-------------------|--------------|
| ① 自分で請求して直接支給を受けた | 338人 (32.2%) |
| ② 事業所を通じて支給を受けた   | 259人 (24.7%) |
| ③ 覚えていない          | 126人 (12.0%) |

(注) 上記①には「たぶん自分で請求して直接支給を受けたと思う」との回答があったケースを含み、上記②には「たぶん事業所を通じて支給を受けたと思う」との回答があったケースを含む。

イ. 上記ア.の回答が②(事業所を通じて支給を受けた)であった方が、脱退手当金の請求や受取りについて委任状を書いたか

- |              |              |
|--------------|--------------|
| ① 委任状を書いた    | 17人 (1.6%)   |
| ② 委任状は書いていない | 85人 (8.1%)   |
| ③ 覚えていない     | 157人 (14.9%) |

(注) 上記①には「たぶん委任状を書いたと思う」との回答があったケースを含み、上記②には「たぶん委任状は書いていないと思う」との回答があったケースを含む。

ウ. 脱退手当金の支給日前に脱退手当金の支給対象外となっている加入期間がある理由や経緯について心当たりがあるか

- |      |              |
|------|--------------|
| ① ある | 260人 (24.8%) |
|------|--------------|

\* 主な回答

- ・ 支給対象外期間について、加入していたことを知らなかった(加入していたかどうか覚えていなかった)。
- ・ アルバイトやパートであったこと、短期間の勤務であったことから加入していたと思っていなかった。
- ・ 被保険者証を持っていなかったため、再就職の際に新たな番号で加入したなど、別の番号で加入していた。
- ・ 再就職の際、会社に前の加入歴(番号)を伝えなかった。
- ・ 脱退手当金の手続きを会社が行ったため、担当者は支給対象外期間のことが分からなかった(と思う)。
- ・ 支給対象外期間については年金請求手続きや年金相談の際など後から判明した。
- ・ 全ての加入期間を含めて支給されるという制度を知らなかった。

- |      |              |
|------|--------------|
| ② ない | 463人 (44.1%) |
|------|--------------|

エ. 心当たりがある場合、手がかりとなるような資料を持っているか

① 持っている 9人 (0.9%)

\* 持っている資料として提示のあったもの

- ・ 厚生年金保険被保険者証
- ・ 年金手帳
- ・ 脱退手当金支給決定通知書
- ・ 厚生年金被保険者期間回答書 (旧姓での被保険者期間の照会への回答)

② 持っていない 714人 (68.0%)

(3) 上記(1)の回答が②(支給を受けていない)であった方(113人)の状況

ア. 退職時に、事業所から退職金などの一時金の支給を受けたか

① 支給を受けた 24人 (2.3%)

② 支給を受けていない 69人 (6.6%)

③ 覚えていない 20人 (1.9%)

(注) 上記①には「たぶん支給を受けたと思う」との回答があったケースを含み、上記②には「たぶん支給を受けていないと思う」との回答があったケースを含む。

イ. 脱退手当金以外の社会保険の給付(傷病手当金、出産育児一時金など)について、事業所を通じて受け取ったことがあるか

① 事業所を通じて受け取ったことがなかった 90人 (8.6%)

② 事業所を通じて受け取ったことがある 2人 (0.2%)

③ 覚えていない 21人 (2.0%)

(注) 上記①には「たぶん事業所を通じて受け取ったことはなかったと思う」との回答があったケースを含み、上記②には「たぶん事業所を通じて受け取ったことがあると思う」との回答があったケースを含む。

ウ. 上記イ.の回答が②(事業所を通じて受け取ったことがある)であった方が、当該給付の請求や受取りについて委任状を書いたか

① 委任状を書いた 0人 (0.0%)

② 委任状は書いていない 2人 (0.2%)

③ 覚えていない 0人 (0.0%)

(注) 上記①には「たぶん委任状を書いたと思う」との回答があったケースを含み、上記②には「たぶん委任状は書いていないと思う」との回答があったケースを含む。

エ. 当時の事情を確認する手がかりとなるような資料を持っているか

① 持っている 1人 (0.1%)

\* 持っている資料として提示のあったもの

- ・ 厚生年金保険被保険者証 (脱表示あり)

② 持っていない 112人 (10.7%)

オ. 記録回復の申立てを行うか

① 行う	59人 (5.6%)
② 行わない	28人 (2.7%)
③ 考えさせてほしい	26人 (2.5%)

